

# 『東北圏だより』



「えちごトキめきリゾート雪月花」が4月23日から運行を開始します！

新潟県

新潟県西部に位置する妙高高原駅～直江津駅間を結ぶ「妙高はねうまライン」と直江津駅～市振駅間を結ぶ「日本海ひすいライン」を運行するえちごトキめき鉄道では、今春からリゾート列車『えちごトキめきリゾート雪月花（せつげっか）』の運行を開始します。



▲えちごトキめきリゾート雪月花（せつげっか）

国内最大級のパノラマウィンドウや足下から空までの景色を展望できるハイデッキ個室を備えた、特徴的な外観のディーゼル2両編成の車両を新造しました。

車体色は、新潟の風景に映える銀朱色をベースに、四季明瞭な沿線の折々の美しい情景のシンボルとして「雪」「月」「花」を外装デザインに取り入れ、車内のインテリアは和モダンをコンセプトに細部まで上質にこだわっています。



▲運行ルート

えちごトキめきリゾート雪月花運行情報

【運行区間・時刻】 ※上越妙高駅、妙高高原駅で乗車可能です。

上越妙高駅発 上越妙高 → 二本木 → 妙高高原 → 二本木 → 直江津 → 名立 → 糸魚川 (午前発便) 10:19発 10:35着/10:51発 11:10着/11:27発 11:45着/11:59発 12:28着/12:38発 12:54着/13:06発 13:30着

糸魚川駅発 糸魚川 → 直江津 → 二本木 → 妙高高原 → 上越妙高 (午後発便) 14:10発 14:46着/14:56発 15:24着/15:43発 16:02着/16:20発 16:48着

※妙高高原駅、上越妙高駅で降車可能です。

【料金】 各便定員45名

料金/お一人様 (税込)	雪コース/2号車 食事付き(午前発便)	月コース/2号車 食事付き(午後発便)	花コース/1号車 食事なし(午前発・午後発)
大人	14,800円	14,800円	6,000円

【運転日】 運転日：平成28年4月23日(土)からの土日祝日

【ご予約の流れ】 専用予約センターへお電話で仮予約ください。その後、案内を発送しますので、期日までに指定口座に料金の振り込みをお願いします。入金確認後チケットを郵送しますので、当日、チケットをお持ちいただき、受付してください。※詳細は専用予約センターへお問い合わせください。

えちごトキめきリゾート雪月花予約センター  
tel. 025-543-8988  
受付時間：平日10:00～17:00土日祝日を除く

お食事は、新潟県出身のミシュラン二つ星シェフである飯塚隆太氏や、糸魚川市の老舗日本料理店の主人である青木孝夫氏がプロデュースする、地元新潟の旬な食材にこだわったお料理を提供します。

北陸新幹線と接続する上越妙高駅と糸魚川駅を発着し、一度の乗車で、海と山の景色をご堪能いただけます。その景色には、新鮮な海の幸、山の幸がぎっしり詰まっています。“週末の贅沢、すこし遠くまで。”全国の皆様から、是非ご乗車いただきたいと思えます。

詳しくは「えちごトキめき鉄道(株)」HPで。

<http://www.echigo-tokimeki.co.jp/>

▲運行情報

## 第7回東北発コンパクトシティPT会議を開催

東北地方整備局

平成22年に策定された東北圏広域地方計画を推進するための広域連携プロジェクトの一つである「都市と農山漁村の連携・共生による持続可能な地域構造形成プロジェクト」の取り組みとして、横手市や長岡市をモデル都市に、プロジェクトチーム（PT）構成機関の他、アドバイザーである学識経験者を交えて意見交換を行う「東北発コンパクトシティPT会議」（主査機関：東北地方整備局）を平成28年3月7日に開催しました。



▲PT会議の様子

本会議では、モデル都市である横手市と長岡市からこれまでの取組状況を報告していただきました。それらを踏まえ、PT構成機関やアドバイザーから、「まちづくりに関する各種法律・制度は、活用していく上で、地域に応じた条例や要綱などをしっかりと定めて運用していく必要がある」「市街地に行く公共交通をいくら整備しても、市街地へ行く場所がないと意味がなく、どこに行くのか、どこに居られるのかということに合わせて計画するべき」などのご意見を頂きました。

その他、新たな「東北圏広域地方計画」における東北発コンパクトシティの位置づけや今後のプロジェクトチームの継続、構成機関からの情報提供などを行いました。

PT会議の詳細については、こちらをご覧ください

→<http://www.thr.mlit.go.jp/compact-city/contents/projectteam/index.html>

## 新たな東北圏広域地方計画が策定されました!!

東北圏広域地方計画推進室

去る3月29日（火）に、新たな東北圏広域地方計画が国土交通大臣決定されました。

新たな東北圏広域地方計画は、東日本大震災や人口減少が著しい状況等を踏まえ、現行の計画を見直したものであり、2050年という長期を展望しつつ、これから概ね10年間で東北圏が目指す姿として「震災復興から自立的発展へ」とし、震災復興を契機に国内外に誇れる防災先進圏域の実現を図るとともに、日本海・太平洋2面活用による産業集積、インバウンド増加により、人口減少下においても自立的に発展する圏域を目指すこととしています。

具体的には、青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県および新潟県の7県の圏域において、各地域の資源やポテンシャルを活かし、圏域内はもとより他圏域、国外との連携・交流を深め、コンパクト+ネットワークの形成により都市と農山漁村が持続可能な圏域の実現を図るとともに、各種産業の振興による雇用の確保、安全安心で快適な生活圏域の再構築を図っていくこと、また、そのために必要な社会基盤整備や情報のネットワーク基盤の整備並びに人口減少下における課題解決に向けた新たな取組や支援施策の推進を図ることなどを盛り込んでいます。

計画の実施にあたっては、計画の目的や取組を東北圏に関係する全ての方々と共有し、県や市町村が策定する地方版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と十分連携を図りつつ、本計画を推進していくことで、東北圏の自立的発展、地方創生へと繋げてまいります。

今後は、各構成機関と連携を図りながら、取組施策の一層の充実、幅広い展開に努めていくことにより、東北圏の将来像の着実な実現を図ってまいります。また、本計画の実行性を高めるため、フォローアップについては、プロジェクトの推進状況を検証するとともに、推進に向けた課題への対応等について検討し、プロジェクトを始め計画の一層の推進を図ってまいります。

【東北圏広域地方計画ホームページ】

→<http://www.thr.mlit.go.jp/kokudo/top.html>

## 人事異動

4月1日付け、東北圏広域地方計画推進室の人事異動がありましたので、お知らせします。

(新副室長) 立花 義則(たちばな よしのり) 東北地方整備局 企画部 機械施工管理官から  
(前副室長) 奥山 英治(おくやま えいじ) 東北地方整備局 企画部 総括技術検査官へ

## 編集後記

新年度を迎え、構成機関の皆様方におかれましても人事異動があったかと思えます。私たち事務局でも約半分のメンバーが入れ替わる事になりました。昨年度まで「新たな東北圏広域地方計画」策定に携わった方々は本当にお疲れ様でした。今年度は、広域連携プロジェクトの推進に向けて、新たなメンバーで再スタートとなりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。メールアドレス：kou-suishin2@thr.mlit.go.jp